令和４年度事業報告書

〔事業概要〕

人生100年時代を迎え、シニア世代の生き方や価値観が変化しており、高齢社会の進行や人口減少化の中、シニア自らが地域の一員として地域社会を支えていくことが求められています。

令和４年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の時期もありましたが、基本的な感染対策を継続するとともに、オンラインも活用し、「豊かで活力ある長寿社会の実現」に向け、関係機関と連携を図り事業を推進してまいりました。

意識づくりの事業では、情報誌「信州りらく」を発行し、高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動等に関する情報を発信するとともに、「人生二毛作実践事例集」等を活用し、地域でのシニア世代の活動を周知しました。また、県民参加の「タウンミーティング」や市町村、市町村社協、シルバー人材センター等の関係機関と連携した「ネットワーク会議」を開催し、高齢者の社会参加活動を支援する取り組みを推進しました。

人づくりの事業では、学生の感染対策を徹底し、「長野県シニア大学」を運営いたしました。一般コースでは、感染拡大により７月末から９月にかけて一時的に休講としましたが、２月には全ての学部においてカリキュラムを終了し、卒業式を開催することができました。また、専門コースは、オンラインも活用しコロナの感染拡大期においても順調にカリキュラムを進めることができました。

仲間づくり・健康づくりの事業では、「信州ねんりんピック」は、リアルとオンラインによるハイブリッドの文化交流会やシニア作品展を開催するとともに、スポーツ交流大会も４年ぶりに開催することができました。また、神奈川県で開催された全国健康福祉祭へも３年ぶりに長野県選手団を派遣しました。

賛助会については、「賛助会員グループ活動活性化検討会」の検討結果をもとに、センターの実施計画を策定し、計画を順次推進することができました。

コーディネートの仕組みづくり事業では、「シニア活動推進コーディネーター」が軸となり、県や市町村、市町村社協、ＮＰＯ、学校等と連携体制を構築しシニアの社会参加を支援しました。

１　意識づくり

(1) 情報提供事業

高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動等に関する情報を発信し、活力ある長寿社会づくりの大切さを呼び掛けました。

① 情報誌発行事業

高齢者の文化活動や社会参加活動等に関する情報を発信し、生きがい・健康づくりや社会参加に対する意識の高揚を図りました。

また、市町村・市町村社協・図書館・公民館等に配付し、センター事業のＰＲとともに社会参加活動の啓発、賛助会員制度の周知等を行いました。

さらに、情報誌企画・編集委員会を開催し、読者の声をもとに誌面内容等の検討や見直しを行いました。

・誌　名　　「信州りらく」
・発行回数　年３回（7 月、11 月、3 月）
・発行部数　4,500 部／回
・配布先　　市町村、図書館、公民館、公的病院、賛助会員 等

▸情報誌企画・編集委員会
・開催日　　令和５年２月 10 日（金）　〔Ｗｅｂ会議〕
　　編集方針・誌面内容等について協議
・委　員　　５名

② 広報事業

報道機関へ積極的な情報提供や関係団体を通じて広報することにより、センターの実施事業や高齢者の社会参加の啓発を推進しました。

(2) 啓発普及事業

高齢者の生きがいと健康づくりに対する県民の意識の高揚を図るため、広報啓発活動を実施しました。

① 広報啓発事業

センターの役割や事業内容等を紹介したパンフレットを活用し、センターの事業を広く県民等に周知するとともに、「人生二毛作実践事例集」や「人生ニモウサク劇場ウェブ版」を通じて、シニアの活動事例を広く県民に紹介しました。

② ホームページ運営事業

センターの各種事業、支部・地区賛助会の活動状況等に関する情報をタイムリーに掲載しました。特に、シニア大学の学生募集の時期には、特設ページを設ける等掲載方法を工夫しました。

③ 表彰事業

高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動に特に功績のあった賛助会員の個人、グループを表彰し功績をたたえ、社会参加活動の一層の推進を図りました。

▸ 知事表彰　　個人３　グループ１

▸ センター表彰　　個人 10　グループ 6

(3) 活動推進事業

高齢者等による社会参加活動を推進するため、活動経費の助成等を行いました。

① センター支部活動事業

支部ごとに、講演会、トークセッション、地区高齢者作品展などを実施するとともに、人生二毛作推進事業として、オンラインも活用し高齢者の社会参加をテーマに県民参加の「タウンミーティング」を各支部で開催しました。

② 高齢者地域活動会議運営事業

人生二毛作社会づくりを推進させるため、市町村、市町村社協、シルバー人材センター等の関係機関が参加し、シニア活動推進コーディネーター等との連携を図りながら、オンラインも活用して支部ごとに「ネットワーク会議」を開催しました。

2　人づくり

(1) 人材育成事業

① 長野県シニア大学運営事業

新型コロナウイルス感染防止対策をとり 10 学部において一般コース、長野学部において専門コースを運営しました。

〔一般コース（2 年制）〕

＜生きがいづくり・仲間づくり・社会参加のきっかけづくりを目指す＞

「新型コロナウイルス感染防止対策基準」に基づき、感染対策をとった会場定員で運営しました。なお、感染拡大期には一時休講の措置をとりましたが、２月には全ての学部で卒業式を実施することができました。

▸ 定　員　1 学年　655 人　2 学年 645 人（10 学部合計）

▸ 学生数　1 学年　364 人　2 学年 367 人（10 学部合計）

〔専門コース（地域プロデュース専門コース）（1 年制）〕

＜地域課題を的確に捉え、それを解決する専門的なスキルを持ったリーダーやプロデューサー的な人材の養成を目指す＞

（学習コース）

・ライフデザイン（創造的な生き方）

・コミュニティデザイン（地域創造）

・ビジネスデザイン（社会的起業）

対面とオンラインを使用したハイブリッド方式の講座運営によりスケジュール通りのカリキュラムを実施することができました。

- 定　員　　30 人（長野学部に設置）
- 学生数　　26 人
- シニア地域プロデューサー

　専門コース修了生は、「シニア地域プロデューサー」としてセンターに登録し、センターと連携を図り、各地域で活動を行っています。（登録者計 123 人）

　また、第 1 期から第 5 期のシニア地域プロデューサーが集まり活動の情報交換を行いました。

・情報交換会　令和 5 年 2 月 15 日（水）　長野市芸術館

③ シニア大学ワーキング会議の開催

　入学者の募集広報や講座運営を見直し、運営の収支バランスを図るため、本部及び支部職員によるワーキング会議を７月から 11 月にかけて継続的に開催し、令和５年度の大学運営についての見直し案を策定しました。

④ シニア大学運営委員会の開催

　シニア大学の現状や上記ワーキング会議での見直し案をもとに、カリキュラム、講座運営等について意見交換を行いました。

- 開催日　　第 1 回　令和 4 年 8 月 30 日（火）　第 2 回　令和 4 年 10 月 25 日（火）
- 運営委員　学識経験者等　6 名

３　仲間づくり・健康づくり

(1) 推進事業

　信州ねんりんピックの文化･芸術交流大会はオンラインも活用し、高齢者の生きがいと健康づくりを推進しました。また、スポーツ交流大会は４年ぶりに伊那市と、南箕輪村で開催しました。

　全国健康福祉祭には、３年ぶりに長野県選手団を神奈川県に派遣しました。

① 信州ねんりんピック開催事業

　長寿社会に対する理解を深め、高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加を推進する契機とするため、オンラインも活用し、文化・芸術交流大会を開催しました。

ア 文化・芸術交流大会

(ｱ) 交流大会

- 期　日　令和 4 年 9 月 17 日（土）
- 内　容　ホクト文化ホール（長野市）の主会場と南信の３つのサテライト会場とをオンラインで結んでシニアの活動を紹介し交流しました。同時に交流の状況を You Tube で発信しました。
- 参加者　会場参加 100 人・You Tube 視聴 230 人

(ｲ) シニア作品展

- 期　日　令和 4 年 9 月 23 日（金）～9 月 25 日（日）
- 会　場　飯田創造館（飯田市）

- 作　品　日本画、洋画、彫刻、手工芸、書、写真の６部門（191 点）
- 来場者　3 日間計 450 人

(ｳ) 囲碁・将棋大会
- 期　日　令和 4 年 9 月 24 日（土）
- 会　場　飯田創造館（飯田市）
- 参加者　50 人

イ スポーツ交流大会
- 期　日　令和 4 年 10 月 22 日（土）
- 会　場　伊那市内各運動競技施設、南箕輪村信州大芝高原マレットゴルフ場
- 競　技　ダンススポーツ、グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、ソフトテニス、ソフトバレーボール、ペタンク、ウォークラリー、弓道、テニス、マレットゴルフ（10 種目）
- 参加者　714 人

② 全国健康福祉祭選手派遣事業

18 種目に総勢 139 人の長野県選手団を神奈川県に派遣しました。
- 期　日　令和 4 年 11 月 12 日（土）（開会式）～11 月 15 日（火）（閉会式）
- 会　場　神奈川県内各会場
- 参加種目

<スポーツ交流大会>

卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、弓道、剣道、水泳、グラウンド・ゴルフ、サッカー、ソフトバレーボール、ウォークラリー、太極拳、ダンススポーツ（16 種目）

<文化交流大会>

将棋、健康マージャン（2 種目）
- 選手団　139 人

<美術展>

日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真（6 部門 12 作品出品）

(2) 活動推進事業

地区賛助会や会員グループへ助成をするとともに、グループ活動を活性化するための検討会での報告、提案に基づいて策定したセンターの実行計画を推進しました。

① 賛助会員募集事業

賛助会員の加入促進を図るとともに、賛助会員の特典となる利用施設の料金等の割引サービスを提供する「割引協力店」を募りその名簿を作成し会員に配布しました。

ア 会員の加入促進

地区賛助会と連携し、シニア大学の在学生への勧誘を進めるとともに、関係機関への訪問等により新たな会員の加入に向けて取り組みました。

〔賛助会員等の状況〕（令和５年３月31日現在）

- 個人会員　1,562人　　法人会員　68団体
- 活動グループ数　110グループ（活動会員1,102人）

イ 割引協力店

- 割引協力店　248施設

② 地区賛助会運営費交付事業

地区賛助会が行う活動発表会の開催、会報の発行、会員の加入促進など、運営に係る経費を交付しました。

- 交付額　1,389,000円（10地区賛助会　合計）

③ 地区賛助会連絡協議会運営事業

賛助会員代表（各地区２名、合計20名）と支部事務局長（10人）から構成する連絡協議会を開催し、地区賛助会活動の紹介やセンター事業等について意見交換を行いました。

- 開催日　第１回　令和４年６月20日（月）
  第２回　令和５年１月30日（月）〔Ｗｅｂ会議〕

④ 賛助会員グループ活動支援事業

賛助会員グループの活動を積極的に推進するため、活動経費の一部を助成しました。

- 助成額　112グループ　1,224,200円

⑤ 賛助会員グループ立上げ給付金事業

賛助会員が新規のグループを設立する際に給付金を給付し、高齢者の自主的な社会参加活動を推進しました。

- 給付額　３グループ　　30,000円

４　コーディネートの仕組みづくり

(1) 活動推進事業

① 高齢者社会参加促進事業

高齢者の社会参加ニーズと地域社会の高齢者に対するニーズ情報を一元的に提供する「シニア活動推進コーディネーター」を配置し、市町村、市町村社協、シルバー人材センター等の関係機関と連携体制（プラットホーム）を構築し、情報共有を図ることを通じて、高齢者と地域社会のニーズのマッチングを行い、高齢者の多様な社会参加を支援しました。

また、コロナ禍においても仲間とつながり社会参加をすすめる手段として昨年度に引き続き通信会社と連携してスマートフォンセミナーを開催しました。

- コーディネーターの配置　　本部１名・各支部１名（合計11名）
- コーディネーター相談件数　　延べ 5,371件

５　センターの運営

センターの運営について審議するため理事会、評議員会を開催したほか、事業の円滑な推進を図るため支部事務局次長等会議等を開催しました。

(1) 理事会

＜定例＞

- 第 24 回理事会　令和 4 年 5 月 23 日（月）
  - ・令 3 年度事業報告、決算報告等について
- 第 25 回理事会　令和 5 年 3 月 2 日（木）
  - ・令和 5 年度事業計画、収支予算等について

(2) 評議員会

＜定例＞

- 第 23 回評議員会　令和 4 年 6 月 9 日（木）
  - ・令和 3 年度事業報告、決算報告等について
- 第 24 回評議員会　令和 5 年 3 月 24 日（金）
  - ・令和 5 年度事業計画、収支予算等について

＜臨時＞

- 臨時評議員会　令和 4 年 4 月 25 日（月）【みなし決議】
  - ・理事の辞任に伴う後任者の選任（2 名）について
- 臨時評議員会　令和 4 年 7 月 13 日（水）【みなし決議】
  - ・評議員の辞任に伴う後任者の選任（1 名）について
  - ・理事の辞任に伴う後任者の選任（1 名）について

(3) その他の会議等

- 支部事務局次長等会議

  第 1 回 令和 4 年 4 月 11 日（月）　〔Ｗｅｂ会議〕
  - ・ 令和 4 年度事業の実施について

  第 2 回 令和 5 年 1 月 16 日（月）　〔Ｗｅｂ会議〕
  - ・ 令和 5 年度事業計画の概要について

(4) 監査

- 監事監査　令和 4 年 5 月 19 日（木）
  - ・ 令和 3 年度事業執行状況及び収支決算の状況等について
- 財政援助団体監査
  - ・県監査員事務局調査　令和 4 年 10 月 7 日（金）
  - ・県監査委員監査　　令和 4 年 11 月 17 日（木）